

アマモ場再生活動に参加してみませんか？

アマモ場ってなに？

アマモは、海の浅いところに生える植物で、アマモ場は、「海のゆりかご」と呼ばれ、魚や多くの海の生き物たちの住み場となったり、エサをとったり卵を産んだりする場所として重要な役割を果たしています。かつて東京湾にはいたるところにアマモ場が広がっていましたが、人間活動により失われ、今ではごく一部にしか残っていません。



海の中のアマモ

アマモ場でとれた生き物



再生活動隊全員集合！

再生活動ってどんなこと？

私たち「金沢八景－東京湾アマモ場再生会議」では、主に金沢八景沿岸の海で、年間を通じてアマモ場再生活動を行っています。再生活動では、アマモの種を採って、種まきや苗の移植により、アマモ場を増やしています。子どもから大人まで、毎年多くの方にご参加いただき、身近な海や海の生き物にふれあいながら、アマモ場の大切さを知り、アマモ場の再生にお力添えいただいています。

再生会議ってなんだろう？

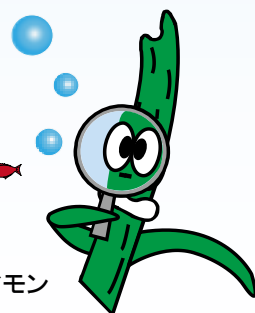
私たち「金沢八景－東京湾アマモ場再生会議」は、身近な海を命あふれる豊かな海にしたいと考えている市民や企業などが集まって、金沢八景のアマモ場から東京湾の再生を目指す緩やかな連携組織です。主にアマモ場の再生や環境学習を柱に活動を行っています。



詳しくは裏面へ...



アマモン



☆アマモ豆知識☆

アマモはタネで増える種子植物です。ワカメやコンブなどの海藻とはちがひ、砂や泥の海底に根（地下茎）をはって仲間を増やしていきます。そして、春、海中で花を咲かせてタネを実らせませす。



アマモの雄花と雌花



タネをつけたアマモの花枝

年間の主な活動のようす

4月下旬 アマモ移植会

アマモの苗(または栄養株)を、新しくアマモ場を再生する場所に植えます。



5月下旬～6月上旬 花枝採取会

みんなでアマモ場に入ってアマモの花枝(若いタネのついた枝)を集めます。



8月上旬 種子選別会

花枝からとれたタネが熟した頃、タネを拾い集めます。



11月上旬 アマモたねまき会

アマモのタネのまきどきになったら、紙粘土に付けたタネを海にまきます。



11月上旬 苗床づくり

水槽に「苗床」をつくり、アマモのタネをまいて苗を育てます。



その他 海の環境学習会

海の環境に関する小学生向けのワークショップを不定期に開催しています。



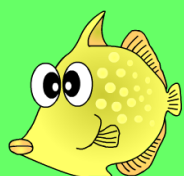
再生活動のスケジュールや詳しい情報はこちらへ！

金沢八景一東京湾アマモ場再生会議

URL: <http://www.amamo.org>

E-mail: amamo8k@gmail.com

FAX: 045-317-9072



携帯・スマホの方はこちらから